

件名	H29 第 6 回湯梨浜町泊地域小さな拠点検討協議会		
日時	2017 年 11 月 7 日(火)18:30~20:00		
場所	湯梨浜町中央公民館泊分館 2 階大会議室		
出席者 (敬称略)	(委員 7 名)遠藤公章、石沼友、石本義之、鷲野星夫、田嶋昭彦、石井美佳代、朝日田卓朗 (オブザーバー) ・ 区長：6 名 筒地区長、小浜区長、泊 2 区長、泊 4 区長、園区長、宇谷区長 ・ 県中部総合事務所地域振興局 久保田係長 (事務局) 湯梨浜町役場みらい創造室 山根副町長、岩崎室長、谷岡主事 計 17 名		
決定事項 (合意事項)			
次回までの 調整事項			
配布資料	協議会会議レジュメ、住民アンケート案		
(会長)	<p>会議も重ねて、区長さん方からも意見をいただいて、協議会として方針を決めたところです。根底には、地域の再生があるんだろうと思っている。人口が減少していくということは、いろんな機能が維持できなくなっていくということで、30、40 年前に比べると色々なものがなくなって、暮らすことが不便になっている。先月の新聞でもあったが、合銀の泊出張所もいよいよ撤退するというので、これが現実なのかと考えると、このような議論をもっと前にしなくてはいけなかった気もするが、今の状況からでも踏んばらなといけなかなと。このまま何もしないでいくと色々なものが地域から無くなっていて、若者も住みたくない、他の便利な地域に出ていくということが現実だと思う。車社会になって不便を感じない世の中になってきているんですけど、いずれは車に乗れない時が来るし、そうなった時にこの地域でどうやって暮らしていくかということ、私たちも真剣に考えなくてはいけないということで、この会でも意見を出させてもらっています。ここで育った人が住みたいなと思えて、人口の V 字回復は難しいと思いますけど、目指していかないと、あらゆるものがなくなって、やがて人がいなくなるという、やっていかないといけない。最悪のシナリオになっていくのではないかなと。今日は、前回委員で話し合った必要な機能の中で、以前住民説明会にも行ったが、参加いただいたのは人口の約 5%ほどでした。ということは、95%の人は、まだ何が行われているか知らないだろうし、こういう危機感をもっていない方がほとんどだと思うので、今回はアンケートのたたき台を作りました。これを全世帯にお配りしていただいて、今の状況を客観的にみていただきながら、これから先どうしなくてはいけないかを住民みんなで考えていかないといけない。今回は、役場機能、公民館機能、買い物機能と入れていて、特に買い物機能は住民の皆さんの買い支えがないと、単独では経営は難しいところ。これに関しては、試算していただいていますけど、300~400 万円くらい、今のキャパの人口の中では赤字がでるんだろうなと。当然民間だけだと大変だが、行政もどういった部分を支援していただきながらやっていけるかも含めて持続可能な地域にしていきたいと考えていますので、今日も委員や区長さんの意見も聞きながら、後半には区長さんにもお願いもしなくてはいけないので、そこも含めて今日はよろしくお願いします。</p> <p>それでは、住民に対するアンケートをある程度ここで決めてしまって、全世帯にアンケートを取らせていただきたいなと思います。(資料内容について、説明)資料の方で、なにか意見があれば出してください。できれば年内にアンケートを実施して、回収したい。</p> <p>(委員)アンケートを全世帯に配付だが、世帯の中で誰(親世代、若い世代など)が回答するかで内容が変わってくると思うが。</p> <p>(会長)家族構成を書いてもらうことで、家族を意識してもらえらると思う。世帯として意見をいただきたいと思う。</p> <p>(委員)話し合っ書いてもらいたい。</p> <p>(会長)そのことも明記できれば。</p> <p>(委員)問 3 で、「出資できますか」という問があるが、出資となると株主になるイメージがあるので、波多マーケットは寄付でしたよね。「出資または寄付できますか」というような表現の方が、いいのかなと思う。</p>		

- (会長)はっきり寄付なら寄付の方がいいのかもしれない。出資だとやがては返ってくるイメージをもたれるかもしれない。寄付とした方がよいかも。答えづらいかもしれない。波多マーケットも最初は寄付という概念だった。資料で気になったのは、「特に移動手段のない高齢者にとって」生活が維持できるか不安な状況。とした方がよいと思う。状況が厳しいということも訴えた方がよい。生活に必要な機能や店舗が減少しているとした方がよいと思う。
- (委員)説明資料の1Pの「人口を増やすには・・・」ではなく「維持する」、「少しでも減らさない」という表現の方が良いと思った。住宅用地に対する調査も本当にするんですか。
- (会長)アンケートの最後に入れています。
- (委員)住宅用地を聞いてどのように活かすか。
- (会長)住宅用地を求める数が多ければ、分譲地など造成をしてもらいたいと提案できるかと。具体的に住みたい人がいるのかと。住民説明会の中ではそういう意見も出ていたが、数としてニーズをはっきり把握したいという思いがあって。
- (委員)問2で、利用しない人には出資などを聞かない形になっているが、聞いてもいいのかなど。やる気のある人が問3～5を答えると金額が大きくなるだろうが、利用しない人でも寄付はしてもいいという人が問3～5を答えると、そういう人の意見も拾えるのかなど。どちらがいいのかなと思う。前向きな意見の金額を拾うなら今のままでいいでしょうし、広い意見を拾うなら利用しない人にも問3～5を答えてもらった方がいいのかなど。ただそうすると回答の金額が下がってしまうと思うんですけど。何を知りたいかで変わってくると思う。問3は「どのくらい負担できますか」で寄付いくら、出資いくらという聞き方かどうか。それから、問8で「・・・泊地域で住宅用地を探している・・・」というふうに明確にしておいた方がよいと思う。
- (会長)出資ではなく、はっきりと寄付としますか。その方が分かりやすいと思います。利用しない人も問3～5を回答してもらいましょうか。あとで、利用する・しない人で回答を分けられますし。
- (区長)寄付で、目安が分からない。「一口〇〇円、にして〇〇」というように具体的に提示しないと、わかりにくいかなと思う。これだけは集まらないといけないという目安はあるんですか。
- (会長)どのような補助があるか調べる必要はあるが、当初の立ち上げとしては500万円くらい必要。500万円の内どの程度補助があるかは、わからないが、よくあるのは1/2なので、半分くらいは必要かと思う。波多マーケットは寄付一口2,000円でしたっけ。
- (委員)自分が出資の方がよいと思う。出資したら恩恵があるとか、自分が関わっている店という意識を持ってもらえる。あと、寄付なら一回きりか毎年求めるのか。
- (会長)それに関しては問4に年会費の質問があり、ずっと通年支えていただきたいので、会費の質問を設けている。
- (委員)会費と寄付は違うんですか。問3と4は違う。
- (会長)問3は立ち上げ時の質問で、問4はランニング的なところで店を支えてもらうイメージ、会員になれば何かしら特典はつくと。
- (委員)問3と問4はわかりにくいような気がする。
- (会長)明確に書きますか。立ち上げ時の寄付と年会費で会員になってもらえるかと。区長さん方にもこれからアンケート実施をお願いして、なるべく多くの回答をいただきたいので、意見があれば出してほしい。さきほどの寄付の金額について、「一口〇〇円で〇〇」とした方が分かりやすいのかも。
- (区長)仮に泊地域の全世帯が寄付をしたとして、1世帯当たり平均いくらの寄付があればいいのか。
- (会長)泊地域の世帯が約833世帯。仮に300万円集めるとして。1世帯当たり3,000円程度だと約250万円になるので、3,000円で何世帯ぐらいうってもらえるかにしましょうか。
- (区長)「3,000円を寄付してください」ということだよ。いろいろな寄付があるが、500円や1,000円など。皆が素直に出してくれるかどうか。「こんなに寄付するのか」という声は出てくると思う。
- (会長)そのような声はあると思う。どのくらいの拒否反応があるかも見てみたい。地域によっても差があると思う。
- (委員)これは、強制できないわけだから。
- (会長)できないならできないという意見もあってよいと思う。
- (区長)出資はできないが、寄付ならできるという人もあると思う。
- (会長)寄付できないなら、できないという意見があれば。ある程度、データがわかれば、まだ店舗をつくるべきではないと判断できる。
- (区長)寄付の3,000円は結構大変だと思う。他の寄付、民間事業所からの寄付もあれば、少しは金額が

下がるのではないか。

(会長)そういうことは、出資の方や関連企業が必要だと思う。アンケートの主旨は危機感を意識してもらいたいということがある。寄付が出せない。店舗がいないという意見が多いならそういうことかなど。寄付となると全く受けない人もあると思う。

(区長)立ち上げに必要な直接の費用がいくらかを明確にした上で、1世帯当たりいくらという書き方をした方がわかりやすいと思う。

(会長)500万円という数字は出ているので、そのあたりを明示した上で。

(区長)0.5口とかもどこかに書けたらと思う。

(会長)もとの金額を落とすとか。1,000円くらいから。

(委員)アンケートなので、全体の金額と1世帯当たりの金額を示して、出せないならいくらまで落とせるか。という形でどうか。

(会長)そこで、寄付できない、会員にならない人たちにとっては、店舗は不要と考えていると読み取れるのかなと思う。今までの話を聞いていて、地域によって考えが違ったり、拠点の位置によって受けられる恩恵も距離によって違ったりと思う。区長さんをお願いしなくてはいけないが、各区で回収してもらうので、区名記載は不要と思う。やはり役場に送ってもらっての回答だと回答率は落ちると思う。

(区長)泊地域の中でも、例えば小浜区と宇谷区では考え方が違うと思うし、現状も違うと思う。泊地区の人がどう思っているか、地区内の店舗が無くなっていく中で、港付近に直売所のような店舗が出来る場合、盛り上がりがあればよいが、そこまで無いような気もするし、わからない。このような説明資料をよく読んでもらって、具体的なことを聞いてみてもなかなか、例えばある区でいえば、店舗はいないという意見がほとんどだと思う。なぜかという、泊地区に店舗ができて、行かない。行くのは羽合地域。買い物する場所とか住宅地が欲しいという声は私も聞いたことはある。あまり具体的につくような聞き方はしないで、皆さんの考えはわからないので、このアンケート内容でどうかなど考えている。港近くに拠点ができるとい機運を盛り上げないといけない。

(会長)正直、そのためのアンケートと思っている。その機会はなかったし、それが必要かという機運も含めて考えてもらうきっかけになるように、なるべく質問も少なくしている。地域の温度差は出てくると思うが、それを受け止めて考えていかないといけない。そのための資料が全くない状況なので、ある程度このくらいの質問で情報をとって、進めていかないといつまでたっても進まないかなと思う。

(区長)情報は出さなくてはならないと思う。どういう話し合いをしているかたぶん知らない。

(会長)地域差がでたら、それは受け止めた上の考えをしていかないといけないと思う。ある区で動けない人がいたら、それでいいのか。泊地域、羽合地域なのかは別にして移送も考えていかないといけないということも含めて各世帯の意識を聞きたいというのが今回のきっかけ。まず盛り上げてというのはわかるが、盛り上げる方法がこれまでなかなか無かったので、アンケートで現状を伝えて皆さんに考えてもらうきっかけかなど。合銀さんの撤退もタイムリーな内容で、このままだと農協さんも東郷まで行かなくてはならないのでは、とか考えた時に人口が減っていくことが原因だし、人が減るからものも無くなっていくというサイクルを考え直すきっかけにできたらなど。この文書も伝えるのは充分でないかもしれないが、きっかけのためのアンケートにしたいと思っている。

(区長)拠点には役場機能、公民館機能、買い物機能と入っているが、役場機能と公民館機能は含まれていると考えて良いですか。それだけでも良いが、買い物機能も加えようとする、資金が500万円必要ということですか。

(会長)そのとおり。

(区長)そうすると、アンケートで買い物機能がいないという結果が出た場合は、役場機能と公民館機能だけになるということか。

(会長)そのとおり。公共施設が古いということもある。

(区長)資料の中に、候補1(泊港周辺)で検討を進めている旨の記載があるが、役場機能を持たせることに私は抵抗がある。最大浸水が3mあるところに役場機能を持たせて大丈夫なんだろうか。個人情報等が津波で流されてしまう。公民館機能は良いとしても、役場機能まで置いて大丈夫だろうか。

(会長)候補1の範囲を広げたのは、浸水区域を外した平地も含めるため。もう少し具体的にになったら、そのことは話していかないといけない。今の役場の敷地や役場前の空き地を含めて、駐車場を確保できないかと思っていて、一つの案。

(区長)私も候補1は抵抗があったが、買い物機能を備える場合は候補1が良いと思った。



- (会長) 役場機能は、今は発行業務が中心であり、端末を設置する程度でも良いのではないかと意見があった。その場合、仮に津波が来ても端末だけが流されて、大事な情報は別の場所で守られるということを検討した上で、拠点を分けない方が利便性がいいのではないかと。意見としては医院も一緒に拠点に入ってもらえばというものもあったが、今医院さんもやっておられて建物に歩いて行けるこの候補 1 の範囲がいいのではないかとということで困っている。
- (委員) 泊 3、4 区の説明会の時に、「漁村センターは残してほしい」と言われた方が、その後私のところに来られまして、委員での検討状況を聞かれた。漁村センターは、町、県、漁協に持ちかけた施設であり、泊 3～6 区の公民館としての役割もあるので、残してほしいと伝えてほしいと言われて。候補 1 に公民館機能が出来ても、遠いと言われた。漁村センターや青少年の家をなぜ解体するのかをもう少し住民の皆さんに説明する必要を今感じている。役場としてはどうでしょうか。
- (事務局) 残すとすれば、地元の方が管理してください。という形になると思う。
- (会長) 漁村センターをこのまま使用するには、何かしら手を加えないといけないということか。
- (事務局) 耐震をやってないですし、2階3階も今使っていない。泊の区に対して、自分達で使われませんかと打診を一度したが、不要という回答だった。
- (会長) 漁村センターに関しては、本当に必要としている方々に意見を聞いて、残すのであれば、役場にまかせっきりにはできないので、もう一度そこも議論する必要がある。
- (区長) 住宅用地には、空き家は含まれますか。中古の家を買いたいという話を聞いたことがある。
- (事務局) 会長から住宅としての用地を見極めるためと聞いていて、空き家を入れると主旨がずれる。
- (会長) 以前聞いていたのは、泊地域に建てたいが土地がないと言っている人がいて。
- (区長) 今の若い世代は、小さな家でも建てたい。しかし、泊地域に土地が無いために、羽合地域に建ててしまっている。
- (会長) 羽合地域でよく出ている分譲地は 50 坪程度。羽合地域で坪だいたい 8～10 万くらいで、50 坪で 500 万円くらいに収まる。泊地域だとその値段は 1/2 くらい。
- (ワザバー) 「参加してみたいですか」という問いに、ある程度具体的な内容（ボランティア、パート等）を書いた方がよいと思う。
- (会長) ボランティアは良くないと思うので、「パート従業員」と入れる。
- (ワザバー) 問 7 移動販売。移動販売に生鮮食品など書き込まれた方がイメージしやすいと思う。
- (会長) 今もコンビニが移動販売をしていますよね。日用品ですか？
- (委員) 社協にもきている。野菜を売っている。移動販売に行っても買う人がいないと言っている。
- (ワザバー) コンビニ 700 品目とあるが、野菜を売っているイメージがない。野菜を売るなら具体的に示した方がよいのではないか。
- (会長) ミニスーパーマーケットとかですか。ミニスーパーとしておきましょうか。そこは表現をこちらで考える。泊地域の現状の部分で、もっと皆さんに真剣に入ってもらえることがあれば。
- (委員) 問 8 だけ異質（住宅用地）ですよ。ね。「いる」と言った時に個人情報にならないか。
- (会長) 探している人は行政へ伝えたいと思う。
- (委員) 「アンケートの結果、このくらい住宅用地を求めている」ため住宅用地が必要である。という程度にとどめておかないと。
- (事務局) エリアは必要だと思う。
- (会長) 「いる」として、「希望のエリア」という形にしておきましょうか。銀行の事も生々しく伝えるために記載したい。「人口減少と共に、少子高齢化が進んでいる」を加える。
- (区長) 宅配の要望があるかないか。「宅配」も加えてみたらどうか。スーパーが宅配で業績を伸ばしている番組があった。ドローンなど流通が進んでいくのではないか。経費を削減して成り立っているという内容だった。
- (委員) 出資できるとしたら 1,000 円程度ではないか。それなら宅配などを重点的にやるべきではないか。
- (会長) そこを判断するために、今回のアンケートデータが必要。
- (委員) アンケートは家族で相談しながら、記入する方がよい。
- (会長) その一文を加える。
- (委員) アンケート自体は、これでよいかと思う。今回でた意見を付け加えて完成でよいのでは。
- (会長) 金額は、安いに越したことはないが、3,000 円でアンケートをとって、住民の皆さんの意識を確認したい。アンケートの実施については、各区長さんをお願いして、回収率をあげていきたい。区長さんを通して、全世帯に対するアンケートとさせていただいてよろしいでしょうか。
- (各区長) (異議なし)

- (会長)アンケートは遅くとも年内には回収したい。どのくらいでアンケートは準備できますか。
- (事務局)今会議での意見を加えて、印刷するので、そんなに時間はかからない。
- (会長)配付するタイミング。ある区では、町報と一緒にだと分からなくなるという意見もあったので、別に配付する形でも大丈夫でしょうか。例えば11月20日に配付するなど。タイミングと方法は、各区でお任せする。回答無しというのは、意識がないということでそれはそれでカウントすれば良い。2週間後を目途に。
- (事務局)各区でまちまちだと思う。各区と調整させていただく。
- (会長)各区の負担にならない程度で、ご協力いただきたい。
- (委員)公民館祭りで、取り組み状況を展示してはどうか。
- (委員)アンケート後の対応は、結果は尊重しなくてはならない。覆す場合、大きな理由が必要。
- (会長)それを見極めるためのアンケート
- (委員)合銀さんの件もあるが、ピンチをチャンスに変えるようなことが大事だと思う。
- (会長)(京都産業大学のフィールドワークについて紹介、説明。)11月11日(土)18:30から意見交換会を活性化センターはまなすで開催予定。  
次回の会議は、アンケート後に開催。
- (事務局)このアンケートの状態でお渡しすれば区長さんが住民に回収方法、期限を説明していただけるということか。
- (事務局)各区用にアンケート内容(回収期日など)を変更するのはどうか。
- (区長)アンケートが来るタイミングによって、期日が変わってくる。
- (事務局)アンケート形式の種類が多いと、混乱のもとになるため同じアンケート形式にしたい。必要であれば、別紙としたい。ご協力をよろしくお願いします。(京都産業大学の取組について説明)
- (会長)本日は、ありがとうございました。今後ともよろしくお願いします。